

平成二十四年度入学試験問題（後期日程）

小論文

法文学部 総合社会システム学科（昼間主コース・夜間主コース）

注意事項

- 一、 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、 解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
- 四、 解答時間は、一二〇分である。
- 五、 縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問題

以下の文章は、チリで起きた鉱山事故について論じたものである。筆者は、文中(1)から(5)の五つの点で、事故から救出までの過程を経済問題とみることができると述べている。文中の事例以外の現実の具体的な問題を挙げ、それがどのようにして解決されたか、あるいはその解決がなぜ難しいかについて、この五つの点に留意して、自分の考えを述べなさい。

解答は、八〇〇字以上、一二〇〇字以内でまとめなさい。

非公開

非公開

非公開

(藤沼宏一、『幸せのための経済学 ―効率と衡平の考え方―』、岩波ジュニア新書、二〇一一年、二〇五ページ、抜粋、部分改変)

以上

平成二十四年度入学試験問題（後期日程）

小論文

法文学部 総合社会システム学科 （昼間主コース・夜間主コース）

出題の意図

本問題の出題意図は、社会科学系学問を専攻するうえで必要な能力を受験生がどれだけ有しているかをみることにある。まず提示された文章をきちんと読解できるかをみる。次に、具体的な社会問題をあげさせることで社会への関心の度合いを問い、その解決について論じさせることで社会現象について考察する能力をはかる。そして、解答された文章全体から、自分の考えを論理的に展開する力を有しているかを判断する。